

令和 7 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 2 月 5 日

札幌市立西岡北中学校

1 学校教育目標の達成に向けて目指す学校像

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 明るい笑顔と挨拶が交わされる学校
3. 願いに応え、信頼される学校 | 2. 学ぶ意欲にあふれ、一体感のある学校 |
|---|----------------------|

2 本年度の教育推進の重点の柱

- 未来を拓く「資質・能力」の育成
- 組織的な生徒指導と特別支援教育の充実
- 保護者、地域、他校種間等との連携
- 小中一貫した教育の更なる推進
- 子どもの声を学校運営協議会に反映させる「コミュニティ・スクール」の推進
- 地域社会における体験活動等を通じて学ぶキャリア教育の充実
- 生涯を通じて健康・安全で活力ある人生を歩むための基礎の育成
- 効果的な I C T 機器の活用による学習活動等の充実
- 教職員の服務規律遵守及び、勤務内容の見直しと働き方改革の推進

3. 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況		改善策の適切さ	
			改善の方策	自己評価の適切さ	
学校運営	1 本校の生徒は目標をもって、学校生活を楽しく送っている。	B	<p>生徒アンケートでは、89%の生徒が「楽しい学校生活」を送っている。75%の生徒が「目標をもって学校生活」を送っていると回答している。また、保護者アンケートによると、「お子さんは学校生活を楽しんでいるか」という問いについて、肯定的な回答は 86%なのに対して、「お子さんが目標をもって学校生活を送っているか」という問いについて肯定的な内容は 70%であった。これらのことから、本校の生徒は、学校生活を楽しんではいらぬものの「目標をもつ」ということに課題があると捉えることができる。</p> <p>改善の方策としては、授業や諸活動において目標を明確化し、取組の途中における目標の修正や取組後の目標に対する自己評価（振り返り）に重点を置いた学習や活動を積み重ねていくこと、その努力を教師や保護者が認め、声掛けを行っていくというサイクルを繰り返していくことが重要であると考えられる。</p>	A	A
	2 本校は教育活動全般について、保護者や地域の願いによく応え、「開かれた学校」である。	B	<p>保護者アンケートによると、「学校は地域や保護者の願いに応えようとしていると思うか」という問いに対して 83%の肯定的回答があった。昨年度と比較すると 2%ほど増加しているが、肯定的回答のうち「だいたいそう思う」が 64%となっており、まだ積極的な肯定とは言い難い。</p> <p>改善の方策としては、保護者や地域の皆様に、本校の教育を御理解、御協力いただく場をこれまで以上に設定し、C S の活動等を通して、学校と保護者、地域の皆様がより一体となって教育活動を進めていることを実感していただくことが考えられる。</p>	A	A

	3	各校務部会や各学年において、設定した目標達成のための実践が行われている。	A	各校務部会、各学年ともに組織的な運営や実践を行い、生徒の成長のために尽力している。 また、それぞれの取組や行事、活動の目的やねらい等を明確に意識して、その目標達成に向けて実践した。これらの実践から、反省等をしっかりと検証し、次年度以降に向けてより丁寧かつ質の高い運営・実践を行っていきけるようにつなげていきたい。	A	A
学校運営協議会 委員による意見		楽しそうに学校生活を送っている生徒が多いと感じる。				
学 習 指 導	4	生徒は基礎的・基本的な内容を身につけ、意欲的に学習に取り組んでいる。	A	生徒アンケートでは、87%の生徒が「授業に意欲的に参加している」と回答している。 今後はより多くの生徒が主体的に学習活動に取り組めるように、明確な課題の提示、学習環境の準備・整備に努めたいと考える。	A	B
	5	教師は、分かる授業に努め、各学年や各教科では、生徒が計画的に家庭学習を行うための手立てがなされている。	B	生徒アンケートでは、94%の生徒が「学力をもっと伸ばしたい」と考えているが、「計画的に家庭学習をしている」と回答した生徒は55%となっており、計画的な家庭学習が継続課題である。今後は、学校の授業だけで終わらずに、継続的に生徒が学ぶ姿勢の育成に努めたい。	A	A
	6	各教科では生徒の意欲向上が図れるよう、評価の観点を明確にしている。	A	本校では、昨年度より「見える評価・分かる評価」を重要取組項目としており、評価評定に関する研修などを通して、学校組織としての共通確認をしながら取り組んでいる。今後もより丁寧な説明や評価の明確化を意識して取り組んでいきたいと考える。	A	A
学校運営協議会 委員による意見		特になし。				
生 徒 指 導	7	本校では共通理解のもと、教師間の連携を図った生徒指導がなされている。	A	年度初めに生徒指導部から全学年に向けて共通指導事項を提示し、毎年見直しをかけている。また、教師間や学年間での差異が生まれないように共通認識のもと、指導を行っている。加えて、生徒指導の在り方も時代によって変化していく内容もあるため、随時見直しを行っている。	A	A
	8	いじめや他の問題行動、不登校等に組織的、全校的に対応できる体制になっている。	A	西岡北中学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止対策委員会を定期開催（月1回）するとともに、毎週1回、情報交換の会を実施している。また、実際にいじめが起こった際にはいじめ防止対策委員会を臨時開催し、組織的・全校的に対応できる体制ができています。	A	A
	9	本校の生徒は、進んで挨拶をしている。	B	生徒アンケートでは、85%の生徒が「積極的に挨拶をしている」と回答しているが、保護者アンケートでは64%の肯定的回答となっている。今後も生徒会による自治的な活動や生活常任委員会の活動などの生徒の自主的な取組を通して、挨拶への意識向上を促していきたい。	A	A
	10	本校の教職員は、進んで挨拶をしている。	A	保護者アンケートでは、92%の保護者が本校の教職員は積極的に挨拶をしていると回答しており、教職員アンケートでも85%の教職員が「進んで挨拶をしている」と回答している。今後も引き続き、意欲的な挨拶を継続していきたい。	A	A

学校運営協議会 委員による意見		挨拶がしっかりと行われているため、明るく開かれた雰囲気なのだと感じる。				
進 路	11	本校では各学年に応じた系統的な進路指導がなされ、将来の生き方を考えさせ、正しい勤労観・職業観を育てる指導を行っている。	A	進路係と各学年の学活・道徳・総合係が連携し、その学年や発達段階に応じた進路指導を行うことができている。今後もより系統性をもった指導が行えるように、資料の整備や指導計画の見直しを行っていく。	A	A
	学校運営協議会 委員による意見		生徒一人一人に寄り添った関わりができていると感じる。進路に関しても、これからも生徒に寄り添った関わり、指導をお願いしたい。			
生 徒 活 動	12	本校では生徒の可能性を伸ばすための学級活動や生徒会活動、学校行事が行われている。	A	生徒アンケートでは、「生徒会活動や学級活動に一所懸命参加している」が83%、「学校行事に一所懸命参加している」が94%と肯定的な回答が大半を占めている。特に「自治的な活動」や、大運動会や合唱発表会における「縦割り交流会」など生徒同士の関わりが増えたことで、生徒達自身の意欲や達成感も向上していると考えられる。	A	A
	学校運営協議会 委員による意見		生徒が意欲的に取り組む姿が多く見受けられるだけでなく、単なる自主的な活動に留まらず、成果の検証や課題の把握まで丁寧に行われている非常に素晴らしい活動であると感じた。			
研 修	13	本校では校内研修のねらいや方法が明確にされ、教職員が意欲的に取り組んでいる。	A	今年度の研修会では、教科や学年を超えて学年・学級経営や係活動について学ぶ機会を設定した。次年度も、日常から意見交流しながら改善し合える環境づくりを続けていきたい。 また、西岡北中学校区の小中一貫した教育では、校内での目標の共通認識や各小学校との連携をさらに強化していきたい。	A	A
	14	本校では、学級を高めていくための学級経営交流がなされている。	B	研修会などの場だけではなく、日常から年齢や経験年数に関係なく、活発な教職員間の交流が生まれるような環境や雰囲気づくりを全教職員で意識して行っていきたい。	A	A
学校運営協議会 委員による意見		特になし。				
情 報	15	本校では保護者・地域の声を聞くとともに、学校の情報を積極的に保護者・地域へ周知している。	B	保護者アンケートでは、保護者の78%が「学校での出来事を保護者に対して知らせている」、83%が「学校は、地域や保護者の願いに応えようとしている」と肯定的な回答をしているが、肯定的な回答のうち「だいたいそう思う」がそれぞれ60%台となっており、まだ積極的な肯定とは言い難い。改善の方策としては、「すぐる」のアプリを使用して情報をこまめに発信することや、学校評価アンケート等を通して生徒や保護者の声を聞いていくことが考えられる。	A	A
	16	本校では、生徒の個人情報の保護・管理に十分な配慮がなされている。	A	校務支援システムを有効に活用し、個人情報適切に取り扱われるよう安全管理を徹底した。次年度も引き続き行っていきたい。	A	A

管 理	17	本校では教材・教具の整備がなされ、有効に活用されている。	B	各担当者が適切に整備・活用しているが、教材・教具の経年劣化等も目立つ。今後もより充実した教育活動を行えるように、適宜整備を行っていききたい。	A	B
	18	給食・清掃・保健指導の充実に努めている。	A	年度当初に各係から全校共通での指導事項等が提示され、共通認識のもとで各担当者から、適宜適切な指導が行われている。今後も、今年度と同様、指導の充実に努めていきたい。	A	B
学校運営協議会 委員による意見		教材等、新しいものを活用できるような体制づくりの検討をお願いしたい。				